

平成 2 2 年

第 7 回仙北市議会臨時会

教 育 行 政 報 告

仙北市教育委員会

平成22年第7回仙北市議会臨時会の開会にあたり、議会の皆様に教育委員会より2点、ご報告をさせていただきます。

1つ目は、仙北市合併5周年記念事業として実施いたしました「芥川龍之介展」についてでございます。

9月17日から11月3日までの会期中の入館者数は、新潮社記念文学館が2,273人、樺細工伝承館が8,082人、平福記念美術館が3,122人であり、三館合わせて延べ13,477人と多くの方々に入場いただいております。

文豪 芥川龍之介の幼少時から35才で没するまでの貴重な資料、遺品をはじめ、夏目漱石、森鷗外など日本の近代文学を代表する文学者の直筆資料を数多く展示し、市内外から来場された皆様から好評を得たところでございます。また会期中の10月7日には文学館のボランティア「やさいの花」の方々による朗読公演「蜘蛛の糸」が開催され、市民の皆さんに文学作品に親しんでいただいたほか、10月28日には図書館後援会主催による文化講演会が角館高校で行われ、早稲田大学の石原千秋教授をお迎えし、広く高校生から一般市民の皆さんまでを対象に、芥川の代表作「羅生門」を題材とした講演をしていただきました。

なお、新潮社記念文学館は開館10年になりますが、今後も皆様のご支援ご協力を仰ぎながら、各施設が連携し、企画展示の充実に努めて参ります。

2点目は、教職員の交通事故についてでございます。

10月22日、午後5時5分頃、市内の中学校に勤務する病氣療養のため休職中の男性教諭（52歳）が自家用車を運転中、角館町内の県道で、止めた車の脇に立っていた市内の男性（70歳）に衝突し、男性は全身を強く打ち、搬送先の市内の病院で死亡されるという事故が発生いたしました。ご遺族皆さまのご心中をお察し申し上げますとともに、お亡くなりになられた方に対し、心からご冥福をお祈り申し上げます次第でございます。

事故の状況、原因等につきましては、現在、仙北警察署で調査中であり、その結果を踏まえ、秋田県教育委員会と協議の上、教諭に対する対応を検討して参りたいと考えております。

今回の大変残念な事態を受け、教職員ならびに教育委員会職員に対し、校長会等を通じて、ただちに安全運転の徹底について文書で通知したところであります。こうした事故が繰り返されることのないよう、常日頃から注意を喚起して参りたいと存じます。

事故が発生しましたことについてお詫び申し上げまして、以上、教育委員会からの報告といたします。